

平成 29 年度学力向上検証改善委員会第 1 回全体研修会

平成 29 年 10 月 2 日（月） 庄原市総合体育館 第 2 会議室

市内の小中学校において、各種調査結果等をもとに、児童生徒の学力の定着状況を検証するとともに、指導方法の改善を図ることにより、児童生徒一人一人の学力の向上に資することを目的に研修会を行いました。

【講話・協議】「平成 29 年度全国学力・学習状況調査の結果について」 「平成 29 年度『基礎・基本』定着状況調査の結果について」

庄原市教育委員会 指導主事 横山 博之

- 「平成29年度全国学力・学習状況調査」及び「平成29年度『基礎・基本』定着状況調査」の市の結果についての講話
- 8月末現在で各校が作成した『学びの変革』に向けた自校の取組について」のアンケート結果をもとに、取組状況等についてグループで協議



（参加者の感想より）

- ◆ 講話で示された学力調査の分析の視点をもとに、本校の実態に応じた課題を具体的に分析し、指導方法等の改善に活用していきたい。
- ◆ 「課題発見・解決学習」についての協議の中で、各校の実践を交流でき、授業における導入の工夫など自校でも活用できそうなことがあったので、授業改善に生かしたい。
- ◆ 「授業アイデア例」を活用したいと思った。

【講演】「『主体的な学び』につながる授業について」

比治山大学 現代文化学部子ども発達教育学科

教授 鹿江 宏明 様

- 「10年後の教育」について、「10年後に中心となる産業・職業は？」「10年後の学校の授業は？」「10年後の教育問題は？」の3グループでのジグソー法によるワークショップ
- 「主体的、対話的で深い学び」に向けた、学びのデザインについて講話



（参加者の感想より）

- ◆ 鹿江教授の講演があつという間で、このような授業であれば、子供達も主体的に学べると思った。
- ◆ 「主体的な学びをデザインする」の中の、「思考に足場を」という考えがとても新鮮でした。どの生徒も同じ立場に立つということ、ぜひ本校でも広めたい。
- ◆ 「主体的・対話的で深い学び」にするために、「良質な問い」が大切であることを改めて学んだので、実践例を元に職員に周知し、今後の授業づくりに生かそうと思う。
- ◆ 職員研修をジグソー法を進めてみようと思う。自分が学んだことを他の人に伝えることは主体的な学びにつながり、そのことを教員自身が体験することで、子供達の主体的な学びにつながると思った。